

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 松本 万之

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 7 年第 1 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. ごみ集積場で発生するカラスによるごみ荒らし対策は	【趣旨説明】 1 月 1 3 日、地元の区内で行われました新年合同会議に出席しました。参加者による意見交換の中で組長担当の方から、「ごみ集積場のごみ袋がカラスに荒らされ非常に困っていて、何とかしてもらえないのか」との発言がありました。 私もごみ捨ての際、カラスが数羽でごみネットの上からくちばしを差し込み、あさる光景を都度見かけます。 町内に住まわれている方達の全ての状況は分かりませんが、このようにカラスがごみ集積場を荒らして、清掃や片付けに悩まされている方の声を聞いたことがあります。 カラスはエサを求めてごみ集積場に飛んできて、クチバシで袋を破り、中の生ごみを食べたり巣に持ち帰ったりしてしまいます。 このことから被害に遭ったごみ集積場は、ごみ収集車が来る前に荒らされ、あとには食い破られた袋からごみが散乱している惨状が残って、目も当てられませんから、ごみ収集業務に携わられている方にも支障をきたしていると考えます。 散らかったごみは、まちの美観（景観）を損ない、本町のイメージダウンにもなります。 尚、繁殖期からヒナの巣立ちの時期（3～6 月）になりますと、人に対して威嚇したり攻撃をしてくる恐れもあります。 又、カラスの目は人の約 5 倍程度良く見え、更に記憶力と学習能力が高いことが知られていて、人が出すごみが格好のいい餌となり、捕獲される心配がほとんどないことから、こんないい条件ではカラスによる被害が増加するのも当たり前かもしれません。 そのほかにも、早朝からの鳴き声がうるさいとか、ふんで周辺が汚されるなどのご意見も伺っています。 そこで如何にごみ集積場を荒らされないようにするかの対策や対応を質問します。 【質問事項】 ①町内各地で発生するカラスによるごみ集積場の被害等で、苦情や相談件数はここ数年でどれくらいあるか。 ②散乱被害に遭わないために、ごみ出しルール・マナーを守っていただく啓発や効果検証はどのようにされているか。 ③年間を通して、各区長からごみネットの交換依頼を受けるも、交換理由の原因を把握されているか。 ④集積場でごみ袋を直置きにする箇所は被害に遭う確率が高いので、四面をネットで囲ったボックスタイプ型や蓋付き収納タイプへの統一の予定はあるのか。 ⑤近隣他市町などで取り組まれている、良い事例などを採用する予定はあるのか。 ⑥カラスの生態を知りつつ、ごみ集積場におけるカラス被害対策ガイドブックの作成予定はあるか。